



## 2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東  
 コード番号 6190 URL https://phoenixbio.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 島田 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016  
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,013	△22.7	△276	—	△223	—	△238	—
2020年3月期	1,310	6.7	△146	—	△125	—	△415	—

(注) 包括利益 2021年3月期 △265百万円 (—%) 2020年3月期 △392百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△73.60	—	△21.1	△8.4	△27.3
2020年3月期	△141.84	—	△30.8	△5.3	△11.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	2,516	1,093	43.4	332.47
2020年3月期	2,784	1,161	41.7	395.69

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,093百万円 2020年3月期 1,160百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	△101	△184	△160	1,327
2020年3月期	△12	△15	1,146	1,775

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	758	—	△11	—	△11	—	△12	—	△3.85
通期	1,598	—	92	—	91	—	82	—	25.01

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期と対前年四半期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2021年3月期	3,288,212株	2020年3月期	2,934,000株
2021年3月期	45株	2020年3月期	45株
2021年3月期	3,233,842株	2020年3月期	2,930,816株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,013	△22.7	△312	—	△262	—	△264	—
2020年3月期	1,310	6.1	△143	—	△131	—	△616	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△81.74	—
2020年3月期	△210.45	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	2,520	1,138	45.1	345.90
2020年3月期	2,774	1,204	43.4	410.37

(参考) 自己資本 2021年3月期 1,137百万円 2020年3月期 1,204百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 補足情報	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が急速に悪化した後、政府による各種経済対策の効果もあり、一部には持ち直しの動きが見られましたが、感染の再拡大に伴い再び緊急事態宣言が発出されるなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が進んでおります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えております。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、自社施設を利用できない製薬企業では外部委託がさらに増加しておりますが、一方で開発プロジェクトが延期や中止になる事態も発生しております。

このような状況のもと、当社グループでは感染予防策を講じながら営業及び生産活動を行っており、世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心に、マウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスを提供しております。

当社グループの主要顧客である製薬企業では、新型コロナウイルス感染症の影響により研究開発活動が停滞し、特に感染が広がった米国や欧州の一部地域では長期化しました。経済活動の再開とともに徐々にラボ業務も動き出し、薬効薬理分野における抗B型肝炎ウイルス薬の開発進展やWebを活用した潜在顧客へのアプローチにより、受注は下期にかけて回復しました。しかしながら、試験開始の遅れや需要集中による一時的なマウス不足により、多数の案件が翌期に持ち越しとなったため、売上高は薬効薬理分野、安全性分野ともに前年同期を下回りました。また、損益面につきましては、旅費交通費をはじめとした営業経費が減少したことや経費削減に努めたことにより、販売費及び一般管理費は前年同期を下回りました。

この結果、当連結会計年度の売上高1,013,543千円（前年同期比22.7%減）、営業損失276,889千円（前年同期は営業損失146,637千円）、経常損失223,875千円（前年同期は経常損失125,346千円）、親会社株主に帰属する当期純損失238,002千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失415,715千円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は1,799,414千円となり、前連結会計年度末に比べ457,894千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が447,616千円減少したことによるものです。また固定資産は716,910千円となり、前連結会計年度末に比べ189,894千円増加いたしました。これは主に海外子会社でのPXBマウス生産設備拡張により、建物及び構築物が82,831千円、工具、器具及び備品が66,146千円、それぞれ増加したことによるものです。この結果、資産合計は2,516,324千円となり、前連結会計年度末に比べ268,000千円減少となりました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は398,784千円となり、前連結会計年度に比べ136,133千円減少いたしました。これは主に前受金が102,502千円増加した一方で、短期借入金が返済により200,000千円、その他が31,483千円、それぞれ減少したことによるものです。また固定負債は1,023,549千円となり、前連結会計年度末に比べ64,013千円減少いたしました。これは主にリース債務が35,950千円増加した一方で、転換社債型新株予約権付社債が転換により100,000千円減少によるものです。この結果、負債合計は1,422,334千円となり、前連結会計年度末に比べ200,146千円減少となりました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,093,990千円となり、前連結会計年度に比べ67,854千円減少いたしました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の転換、新株予約権の行使等により資本金が98,862千円、資本剰余金が98,862千円、それぞれ増加した一方で、親会社株主に帰属する当期純損失の計上により利益剰余金が238,002千円減少したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ447,616千円減少し、1,327,813千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は101,909千円(前連結会計年度は12,617千円の支出)となりました。これは主に前受金の増加102,502千円があった一方で、税金等調整前当期純損失223,875千円があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は184,775千円(前連結会計年度は15,754千円の支出)となりました。これは主に海外子会社でのPXBマウス設備の増設により有形固定資産の取得による支出181,020千円があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は160,194千円(前連結会計年度は1,146,053千円の獲得)となりました。これは主に新株予約権の行使による株式の発行による収入84,566千円があった一方で、短期借入金の減少200,000千円、リース債務の返済による支出21,300千円があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	85.6	81.0	41.7	43.4
時価ベースの自己資本比率(%)	137.7	109.8	59.1	80.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

5. 「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」は、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せず不透明な状況にありますが、薬効薬理分野である抗B型肝炎ウイルス薬の新薬開発は活発であり、海外製薬企業から多くの引き合いを頂いていることから、堅調に推移すると見込んでおります。

このような環境のもと、当社グループでは引き続き感染予防策を徹底しつつ、増加しているPXBマウス需要に対応するため、増産体制で取り組み、設備投資が完了した海外生産拠点である子会社のKMT Heaptch, Inc.においても早期に安定生産できるよう努めてまいります。

次期の連結業績予想につきましては、売上高1,598,737千円、営業利益92,057千円、経常利益91,715千円、親会社株主に帰属する当期純利益82,221千円を見込んでおります。2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準を適用した後の金額となっております。為替レートにつきましては、1米ドル108円を想定しております。

なお、本見通しは新型コロナウイルス感染症の影響が一定程度継続すると仮定しておりますが、大規模な企業活動の制限については想定しておりません。今後の業績予想に影響を及ぼす事態が発生した場合には、速やかに開示いたします。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループでは北米を中心とした海外市場での事業拡大と生産体制の確立に努め、収益の改善に取り組んでまいります。海外売上高については、新型コロナウイルス感染症の影響により、顧客の研究開発活動が停滞していたことから当連結会計年度は対前期比で減少しましたが、受注環境は堅調であります。今後さらに売上を伸ばすため、コンソーシアム活動やCROとの業務提携により新規顧客開拓やPXBマウス及びPXB-cellsの用途拡大を進めてまいります。同時に従来の受託試験サービスからPXBマウス販売へのシフトを進めることで、経営資源をマウス生産に集中し、収益基盤の安定化を目指してまいります。そのための体制として、海外生産拠点であるKMT Hepatech, Inc. 社において設備投資を行い、PXBマウスの供給能力を増強しました。今後は同社でのPXBマウス生産の安定化を目指すとともに、効率化によるコストの低減に取り組んでまいります。

資金面につきましては、当連結会計年度末において、1,327,813千円の現金及び預金を保有しており、当面の事業資金を確保しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、財務諸表への注記は記載しておりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,775,429	1,327,813
売掛金	214,435	159,856
製品	48,722	52,956
仕掛品	79,942	138,609
原材料及び貯蔵品	94,412	87,501
その他	44,366	32,675
流動資産合計	2,257,308	1,799,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	395,217	498,883
減価償却累計額	△282,162	△302,996
建物及び構築物(純額)	113,055	195,886
車両運搬具	352	352
減価償却累計額	△352	△352
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	202,474	287,801
減価償却累計額	△157,054	△176,235
工具、器具及び備品(純額)	45,419	111,565
土地	296,000	296,000
リース資産	19,771	27,221
減価償却累計額	△12,772	△16,118
リース資産(純額)	6,999	11,103
使用権資産	59,448	116,817
減価償却累計額	△20,365	△29,150
使用権資産(純額)	39,083	87,666
建設仮勘定	7,418	—
有形固定資産合計	507,975	702,222
無形固定資産		
ソフトウェア	1,990	2,406
リース資産	871	174
無形固定資産合計	2,861	2,580
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,300	2,151
長期前払費用	584	101
その他	7,294	9,855
投資その他の資産合計	16,179	12,108
固定資産合計	527,016	716,910
資産合計	2,784,325	2,516,324

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,734	37,240
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	20,004	2,481
リース債務	18,882	25,729
未払法人税等	11,078	6,094
前受金	139,760	242,263
その他	116,458	84,974
流動負債合計	534,917	398,784
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	900,000
長期借入金	2,481	—
リース債務	74,538	110,488
繰延税金負債	—	5,754
資産除去債務	3,140	3,206
その他	7,402	4,099
固定負債合計	1,087,562	1,023,549
負債合計	1,622,480	1,422,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,259,264	2,358,126
資本剰余金	479,173	578,035
利益剰余金	△1,558,471	△1,796,473
自己株式	△40	△40
株主資本合計	1,179,926	1,139,647
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△18,995	△46,416
その他の包括利益累計額合計	△18,995	△46,416
新株予約権	914	759
純資産合計	1,161,844	1,093,990
負債純資産合計	2,784,325	2,516,324



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,310,861	1,013,543
売上原価	444,751	425,402
売上総利益	866,109	588,140
販売費及び一般管理費		
役員報酬	142,341	141,064
給料及び手当	215,106	206,898
退職給付費用	6,333	6,817
減価償却費	9,997	8,622
研究開発費	238,378	221,115
支払手数料	105,569	79,102
その他	295,021	201,410
販売費及び一般管理費合計	1,012,746	865,030
営業損失(△)	△146,637	△276,889
営業外収益		
受取利息	1,283	1,058
為替差益	—	20,808
補助金収入	30,937	16,186
受取保険金	—	14,374
その他	7,567	1,887
営業外収益合計	39,788	54,316
営業外費用		
支払利息	1,544	1,167
株式交付費	123	135
為替差損	16,679	—
その他	150	—
営業外費用合計	18,498	1,302
経常損失(△)	△125,346	△223,875
特別損失		
固定資産除却損	109	0
減損損失	292,122	—
特別損失合計	292,231	0
税金等調整前当期純損失(△)	△417,578	△223,875
法人税、住民税及び事業税	2,413	2,604
法人税等調整額	△4,276	11,521
法人税等合計	△1,863	14,126
当期純損失(△)	△415,715	△238,002
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△415,715	△238,002

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△415,715	△238,002
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	23,205	△27,421
その他の包括利益合計	23,205	△27,421
包括利益	△392,510	△265,423
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△392,510	△265,423

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,253,851	473,760	△1,142,755	—	1,584,856
当期変動額					
新株の発行	5,412	5,412			10,825
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△415,715		△415,715
自己株式の取得				△40	△40
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5,412	5,412	△415,715	△40	△404,930
当期末残高	2,259,264	479,173	△1,558,471	△40	1,179,926

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△42,200	△42,200	—	1,542,655
当期変動額				
新株の発行				10,825
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△415,715
自己株式の取得				△40
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	23,205	23,205	914	24,119
当期変動額合計	23,205	23,205	914	△380,811
当期末残高	△18,995	△18,995	914	1,161,844

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,259,264	479,173	△1,558,471	△40	1,179,926
当期変動額					
新株の発行	98,862	98,862			197,724
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△238,002		△238,002
自己株式の取得				—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	98,862	98,862	△238,002	—	△40,278
当期末残高	2,358,126	578,035	△1,796,473	△40	1,139,647

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△18,995	△18,995	914	1,161,844
当期変動額				
新株の発行				197,724
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△238,002
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△27,421	△27,421	△154	△27,575
当期変動額合計	△27,421	△27,421	△154	△67,854
当期末残高	△46,416	△46,416	759	1,093,990

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△417,578	△223,875
減価償却費	53,291	55,442
減損損失	292,122	—
のれん償却額	31,773	—
株式報酬費用	12,423	12,458
受取利息	△1,283	△1,058
支払利息	1,544	1,167
為替差損益(△は益)	1,263	△6,117
補助金収入	△30,937	△16,186
受取保険金	—	△14,374
有形固定資産除却損	109	0
売上債権の増減額(△は増加)	30,903	54,578
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,721	△56,489
仕入債務の増減額(△は減少)	1,408	8,484
未払金の増減額(△は減少)	△422	△39,306
前受金の増減額(△は減少)	28,834	102,502
その他	3,187	△5,879
小計	△43,080	△128,656
利息及び配当金の受取額	1,283	1,058
利息の支払額	△1,730	△973
補助金の受取額	33,311	15,005
保険金の受取額	—	14,374
法人税等の支払額	△2,412	△2,726
法人税等の還付額	9	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,617	△101,909
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△30,626	△181,020
無形固定資産の取得による支出	—	△1,296
子会社株式の取得価格修正による収入	14,594	—
その他	276	△2,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,754	△184,775
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△26,004	△20,004
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	1,000,000	—
リース債務の返済による支出	△25,359	△21,300
割賦債務の返済による支出	△3,456	△3,456
自己株式の取得による支出	△40	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	84,566
新株予約権の発行による収入	914	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,146,053	△160,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,059	△737
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,118,740	△447,616
現金及び現金同等物の期首残高	656,689	1,775,429
現金及び現金同等物の期末残高	1,775,429	1,327,813

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	米国	スイス	その他	合計
370,311	546,925	266,712	126,911	1,310,861

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	カナダ	その他	合計
427,949	74,836	5,189	507,975

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
F. Hoffmann-La Roche AG	234,880	PXBマウス事業
Gilead Sciences, Inc.	229,911	PXBマウス事業
Alnylam Pharmaceuticals Inc.	170,920	PXBマウス事業

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	米国	スイス	その他	合計
334,060	344,536	269,961	64,985	1,013,543

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	カナダ	その他	合計
416,118	282,239	3,863	702,222

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の氏名又は名称	売上高	関連するセグメント名
F.Hoffmann-La Roche AG	264,816	PXBマウス事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	395.69円	332.47円
1株当たり当期純損失(△)	△141.84円	△73.60円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。
2. 1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△415,715	△238,002
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(千円)	△415,715	△238,002
普通株式の期中平均株式数(株)	2,930,816	3,233,842
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	新株予約権4種類(新株予約権の 数11,341個(普通株式1,134,100 株))。 転換社債型新株予約権付社債1種 類(新株予約権の数40個(普通株 式1,828,120株))。	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

## (1) サービス別売上高

		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
薬効薬理分野	国内	158,591	12.1	115,409	11.4
	海外	363,356	27.7	315,713	31.1
安全性等分野	国内	211,719	16.2	218,651	21.6
	海外	577,194	44.0	363,769	35.9
合計		1,310,861	100.0	1,013,543	100.0

## (2) サービス別受注高

		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
薬効薬理分野	国内	164,886	6,295	112,650	3,536
	海外	392,876	236,075	445,372	380,079
安全性等分野	国内	214,167	8,325	216,808	6,483
	海外	515,207	120,153	395,434	157,982
合計		1,287,137	370,849	1,170,266	548,081

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高及び受注高を記載しております。